

一般質問通告書

令和6年第4回議会定例会（令和6年12月）

質問者（6名）

- ① 田尻博樹
- ② 西文男
- ③ 長山美香
- ④ 窪田仁
- ⑤ 根釜昭一郎
- ⑥ 高風勝一郎



知名町議会

通告順	議席 1 番	田尻 博樹	令和 6 年 12 月 日
1			時 分 ~ 時 分
1. 子育て支援について			
<p>親が安心して預けられ、働けるようにするために</p> <p>① こども園に登園する園児の保護者は、家事・育児・仕事に加え毎朝の登園準備に大変な思いをしていると思われる。そこで保護者、保育士、行政、3者での話し合いを行い「手ぶら登園」を推奨し、保護者の負担を少しでも軽減できないか伺う。</p> <p>② 年度末に近づくとつれ待機児童がいると聞くと聞くと、現在待機児童はいるのか伺う。</p>			
2. 町道側溝整備について			
<p>令和 5 年 6 月議会でも質問がありましたが、知名生活館前から C 団地北側の T 字路までは側溝が未整備のため、令和 5 年 6 月と先月 11 月に発生した豪雨により道路が冠水し、歩行者及び車両の通行に大きな支障をきたした。このような現状もあることから、知名字区長名で令和 5 年 9 月 25 日付けで側溝整備に関する要望書が町に提出されている。字民からも 1 日も早い対応が求められているが、進捗状況はどのようになっているのか伺う。</p>			
3. 農業振興地域及び農用地区域内の町道整備について			
<p>農業振興地域内の町道については未舗装箇所が多数あり、作物や資材の運搬、トラクター等の移動に支障をきたしている。また先月 11 月に発生した豪雨時には、未舗装のため砂利が農地や農道に流失しているのが確認されています。</p> <p>① 農業振興地域内の町道の舗装は行われているのか伺う。</p> <p>② 農業振興地域内の町道の維持管理及び点検活動は行っているのか伺う。</p>			
4. 農業振興について			
<p>先月 11 月に発生した豪雨による農作物への被害状況、及び被害を受けた農家への支援は検討しているのか伺う。</p>			

通告順	議席10番	西 文男	令和6年12月 日
2			時 分 ~ 時 分
1. 11月の豪雨災害について			
<p>① 気象庁は11月9日午前2時40分に線状降水帯の発生に伴う猛烈な雨が降り続いたため大雨警報を発令しました。11月の月例雨量はどれぐらいか。又、24時間（1日間）の最大雨量はどれぐらいか伺う。</p> <p>② 知名町の防災計画の中で、大雨警報発令時の避難計画等はどうなっているのか伺う。</p> <p>③ 本町は農業立町である。農業の発展なくして知名町の発展なしと言っても過言ではないと思います。今回、被害を受けた農業関係の農作物農業施設、農業・畜産用機械、耕地関係等の被害額はどれぐらいか伺う。</p> <p>④ 今回の大雨による被害を受けた農家、そして公共工事を施工中で道路の侵食を受けた場所での補修費等について、町は具体的に支援対策を講じていくか伺う。</p> <p>⑤ 国や県に対し、大雨による作物などの被害状況を共有し、今後の農家支援対策について具体的な要請を行っているか伺う。</p>			
2. 農業振興について			
<p>① 本町農業生産振興計画書の主要施策で、各作物における輪作体系を推進し、地力の維持・増進と土壌浄化による農業生産の安定に努めるとある。そのためには堆肥センターが必要だと思うが、町の見解を伺う。</p> <p>② 町は土壌診断をするのに必要な土壌診断機を購入して、土壌診断を実施しているが、PH診断以外にどのような項目があるか伺う。</p>			

通告順	議席 2 番	長山 美香	令和 6 年 12 月 日
3			時 分 ~ 時 分
1. ゴミの減量化対策について			
<p>町政の基本方針である「子や孫が誇れる町づくり」のために住みよい地球環境を引き継ぐこと、そして町が進めているゼロカーボンアイランドの脱炭素化においてもゴミの量の削減と資源化は早急に取り組まなければならない課題です。</p> <p>① 段ボールの収集方法とリサイクルの状況について伺います。</p> <p>② 乾電池の収集方法について伺います。</p> <p>③ 樹木や雑草等の処理方法について伺います。</p>			
2. ポイ捨ての対策について			
<p>道路への空き缶やペットボトル、弁当ガラ、煙草の吸殻等のポイ捨ては景観を損ねるだけでなく、花と昇竜洞の島を楽しみに来島した観光客の期待を裏切ることとなり、また「子や孫が誇れる町」とは程遠いものです。</p> <p>① 知名町空き缶等ポイ捨て防止条例は町民にどの程度認識されていると思いますか。</p> <p>② 第 3 条の施策と実施状況について伺います。</p> <p>③ 施行から現在に至るまで指導や勧告、過料を科したことはありますか。</p>			
3. 人手不足解消について			
<p>高齢化と生産年齢人口減少のため、商工業や農業において担い手不足だけでなく、人材不足も生じていますが町としてどのような対策をおこなっていますか。</p> <p>① ハローワークの利用状況について伺います。</p> <p>② えらぶ島づくり協同組合の取組みと実績状況について伺います。</p> <p>③ 一般社団法人ツギノバの「ふるさとワーキングホリデー」の状況について伺います。</p>			

4. 不祥事のその後について

9月定例会において刑事告訴までにはしばらく時間がかかるとのことでしたが、その後の状況について伺います。

- ① 刑事告訴は行われましたか。
- ② 定期的に経過を町民に報告する必要があると考えますが、その方法や予定はありますか。

通告順	議席 8 番	窪田 仁	令和 6 年 12 月 日
4			時 分 ~ 時 分
<p>沖永良部畜産の振興は、地域経済に大きく貢献しています。 更なる取組、持続可能な畜産振興について！！</p>			
1. 畜産振興について			
<p>① 畜産物の消費拡大を図るために月 2 回程度、沖永良部産牛肉を使用した給食を提供できないか伺います。</p> <p>② 畜産農家の確保・育成に向けた具体的な対策について伺います。</p> <p>③ 少子高齢化に伴う農家戸数の減少に対応するため、畜産農家を増やす施策として、島内外からの受け入れ態勢はどうか伺います。</p>			
2. 農業振興について			
<p>① 令和 5 年度の農畜産物販売高について、評価と今後の展望について伺います。</p> <p>② 農畜産物販売高の算出方法について伺います。</p> <p>③ 輸送コスト支援事業の補助金について、毎年 4 月と 10 月に確実に交付できないか伺います。</p>			
3. 文化財振興について			
<p>① 町指定文化遺産の、屋者琉球式墳墓・アーニマガヤトゥール墓・屋子母セージマ古墳・新城花窪ニヤート墓を隣町と連携し、トゥール墓群の国指定文化遺産に向けた事業の進捗状況について伺います。</p> <p>② 国指定文化遺産に向けた取組みについて、トゥール墓群の魅力的な構想をどのように描いているのか伺います。</p> <p>③ 事業周知について、周知度が低い集落住民への対応について伺います。</p>			

4. 道路整備について

- ① 県道国頭知名線の屋子母字は、雨の度に集落内に流れ込む濁流で甚大な災害を受けています。今後の排水整備について。
- ② 町道下平川平川線の知名東循環(ハチマキ線)の東側は、道路の劣化で凹凸が激しく一部は徐行でしか通れない。住民からの指摘も多く再三の要請もありました。道路整備の進捗状況について伺います。
- ③ 集落内に道路整備されていない町道が数多くあります。町道の整備交付金を集落に活用できる体制はできないか伺います。

通告順	議席 9 番	根釜 昭一郎	令和 6 年 12 月 日
5			時 分 ~ 時 分

1. 島外との交流事業について

近年、児童・生徒数は減少の一途をたどっているが、次世代を担う子供達の為、「交流事業の新規創設が必要不可欠」と考える。また、第6次知名町総合振興計画のミッションにもあるように、今こそ次世代を担う人づくりの礎を構築していく時と考え、質問します。

- ① 現在、行っている交流事業にはどのような事業があるか。
- ② 次年度以降、新規交流事業の計画はあるのか。
- ③ 財源等については、奄振やふるさと納税を活用する形で持続可能な事業創設が可能と考えるがどうか。

2. 地域公共交通の今後の在り方について

高齢化が進むにつれ、今後ますます地域公共交通の在り方が問われる時代になると考える。町の今後の方向性について質問します。

- ① 本町では、いくつかのコース（路線）で実証実験を行いました。今後の実現性はどうなっているのか。
- ② デマンド運行の拡充やライドシェアの必要性を感じているが、町として公共交通の在り方をどのように考えているのか。

3. 集落運営について

人口減少及び世帯数の減少、並びに住民の集落意識の変化により、運営困難な集落が増えてきているのではと懸念しています。町の事業のパズルピース型集落システム事業等の取組は今後の集落運営の基幹となっていくであろうと感じているところです。しかしながら気になる点について質問します。

- ① 今後の町のサポートの年次的計画はどうなっているのか。
- ② 本来であれば、自助・共助が立ちゆかなくなっている集落にこそ、町が手を差し伸べるべきだと考えるが、町はどう考えているのか。

通告順	議席 6 番	高風 勝一郎	令和 6 年 12 月 日
6			時 分 ~ 時 分
1. 友好都市締結した今帰仁村との取り組みについて			
<p>(1) 今帰仁村と本町は平成元年から平成 10 年頃まで盛んに交流があり、その後 20 年以上交流が途絶えていましたが、令和 2 年 1 月 31 日に友好都市締結調印式が行われました。協定書では友好的な関係を深めるため 6 つの交流事項を掲げていますが、それぞれで取り組んでいる内容を伺います。</p> <p>① 住民、団体間の相互交流</p> <p>② 青少年の相互交流</p> <p>③ 文化・教育・スポーツに関する交流及び連携</p> <p>④ 産業振興に関する交流及び連携</p> <p>⑤ 災害時の相互交流</p> <p>⑥ その他友好関係発展のための相互交流</p> <p>(2) 知名町と今帰仁村との職員交換派遣交流ができないか伺います。</p>			
2. 沖永良部音楽コンクールについて			
<p>① 昭和 60 年 3 月に第 1 回が開催され今年で 40 年目、またコンクールが行われるきっかけとなった武田恵喜秀先生提唱の昭和 46 年「ニューイヤーコンサート」から 54 年目になります。島独自の取り組みとして青少年の音楽発表の機会を提供してきましたが終了すると聞きました。その経緯を伺います。</p> <p>② ご支援とご努力いただいた審査員や町文化協会、コンクール関係者には、どのような対応を考えているか伺います。</p> <p>③ 町として今後、音楽に関する取り組みをどのように進めて行くか伺います。</p>			

